



《クリスマスに向けて点灯したイルミネーション》

## 1. 概況(雑感)

10月に入り、後期の授業も本格化してきたようで、宿題やレポートを持ち込む学生で学習支援室は賑わい始めた。また、中旬には指定校推薦をはじめとする特別推薦入試と下旬には公募制推薦入試が実施され、来年度の新入生を迎えるための行事も始まった。推薦入試のシーズンになると学内でトロンボーンの手打ちをしていた受験生のことを思い出す。声をかけてみたところ、AO入試の受験に来ていることがわかった。現在は工学部に在籍し、学習支援室をよく利用する学生の一人であるが、吹奏楽部の活動を通してキャンパスライフを一緒に楽しめる間柄にもなった。これも何かの縁だと思う。

先日、支援室の利用者の統計を出すために、データ入力をしていて、見慣れない学籍番号を目にした。調べてみると留学生別科の学生の学籍番号であることがわかった。先月、留学生別科の先生が341号教室の使用の件で打ち合わせに見えられたとき、このような学習環境で勉強させたいと話されていたので、別科の学生さんにも、ぜひとも利用していただくようお願いしておいた。早速連絡していただいたようで、それ以来、別科の学生が宿題やレポートの作成に取り組む姿を幾度となく見かけるようになった。

別科の学生だけではない。今月に入って新たに文系学部の学生がSPIの学習相談で訪れるようになった。SPIの対策で就職部より相談を受けた際、SPIの勉強で行き詰まったが学生がいれば、支援室の利用を勧めていただくように、就職部をお願いしておいたからだ。ただ、現状の少ないスタッフでは学生達が満足いく丁寧な対応ができるかという疑問は残るが、いろんな学部の学生が気軽に利用でき、さらに機能的で活気のある支援室になればと願っている。

## 2. 利用状況[10月1日~31日]

総利用者数 1643人 [2008年度 1438人, 2007年度 1183人]

65.7人/日 [学習相談 1382人(25日), 補習授業 261人(18日)]

### 1) 利用統計

学年別利用者数 (全学部延べ人数)

年度	2009	2008	2007
1年生	388人	660人	796人
2年生	644人	604人	164人
3年生	594人	118人	184人
4年生	16人	55人	38人
その他	1人	1人	1人

〔※その他 留年生・大学院生の利用〕

科目別利用者数 (全学部延べ人数)

年度	2009	2008	2007
数学	604人	839人	581人
物理	68人	139人	195人
英語	17人	39人	37人
情報	7人	11人	19人
化学・生物	6人	410人	351人
専門・一般	148人		
自習	761人		
その他	32人		

学科・学部別利用者数 (延べ人数)

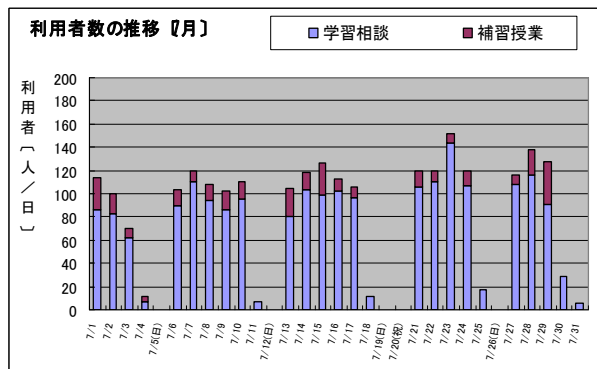
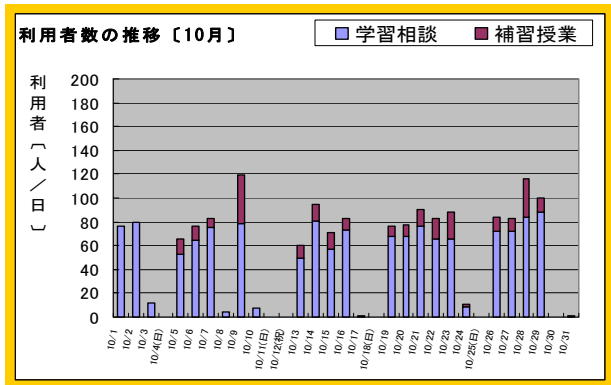
年度	2009						2008	2007	
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年以上	合計			
工学部	C科	25人	19人	32人	1人	0人	77人	65人	156人
	A科	39人	162人	9人	0人	0人	210人	274人	158人
	E科	114人	229人	511人	11人	1人	852人	670人	615人
	M科	94人	138人	19人	3人	0人	254人	268人	125人
	B科	110人	96人	19人	1人	0人	221人	157人	122人
他学部	I部	0人	0人	0人	0人	0人	10人	2人	7人
	J部	1人	0人	3人	0人	0人			
	L部	0人	0人	1人	0人	0人			
	P部	0人	0人	0人	0人	0人			
大学院		1人	別科		4人				

〔※10月の他学部の利用について J3, L3-SPI, 別科課題・レポート等〕

10月の利用状況を学部・学科別に示した。今回は3年次生でSPIの模擬試験が実施されたことから、模擬試験を持って復習にやって来た学生が、工学部の学生だけでなく他学部の学生にもいた。科目別利用者数のその他の人数はこれらSPIの学習相談によるものである。また、今回は留学生別科の学生の利用もあり、学部・学部別利用者数の表に利用者数を入れた。

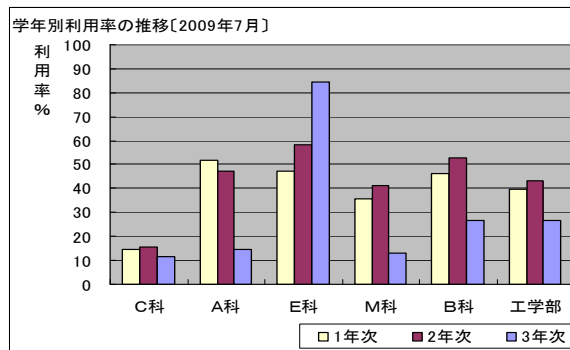
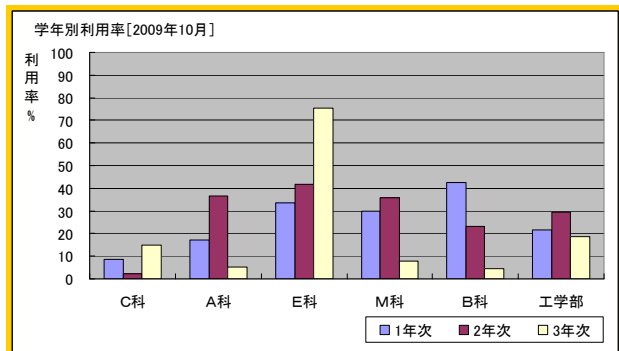
## 2) 利用者の推移

10月の利用者の推移を表にした。学生が学習支援室を利用するスタイルは自分たちの時間割と関連しており、後期になって学生の利用する波が変わった。主な利用時間帯は授業の合間や授業が終了した放課後であるが、特に宿題や実験レポートの提出間際になると多くの学生が一度に利用しに来るため、グラフの突出している日が目立つのはそのためである。学園祭後に微積分Iの統一中間試験の実施が予定されており、これからしばらくは数学の学習のための利用者が多くなると予想される。10月は利用の最も多かった7月と比較すると、1日あたりの利用状況は7割程度になっている。



## 3) 学年別利用率の推移

10月の学年別の利用率を集計した。今回は授業が始まり間もない月であることから全体的に利用率が下がっている。E科の3年次生については支援室(2)で実験レポートの作成をグループで行っているため、利用率が高くなっている。1年次生ではB科の利用率がひととき高くなっているが、これは後期に微積分1の履修者が他学科より多く、学習相談に多くの学生が利用してくれているためである。前期に支援室を利用していた学生のアドバイスで後期から支援室を利用し始めた学生も目立つようになった。



※利用率=(在籍数に対する実利用者数の割合を百分率で示したもの)

## 3. 今月のトピックス

- \* [5日(月)] 授業が始まった一週間後より補習授業を開始しているが、その初日が金曜日であったことから、学生への連絡等も考慮して、区切りのよい週始めの月曜日の開始とした。
- \* [8日(木)] 台風18号が上陸し、午前9時現在、兵庫県南部に暴風警報が発令されたため、全授業休講の措置がとられた。休校を知らずに登校した学生もあり、学習相談に何名かの学生がやってきた。
- \* [21日(水)] 就職部 濱田 課長がSPI対策の件で相談に来室された。文系学部の学生からの要望があれば、数理関係の部門の学習相談をお願いしたいとのこと。文系学部の学生には学習支援室はあまり知られていないため、就職部に相談に来た学生に対して、紹介と利用を勧めていただくことで合意した。今まで工学部の授業との連携は行っていたが、今回就職部とも連携をとることになった。センター通信と月報の配布も行う。
- \* [22日(木)] 一色先生、井上先生、松尾先生、日之上係長とセンタースタッフで、入学前教育の打ち合わせを行った。通信添削の教材、スクリーング等について、役割分担と日程について検討した。

[その他] 実験レポートの打ち出しが支援室(2)のPCブースで行われているが、プリントアウトされる紙の量が1000枚を軽く超える日があった。